

釧路南ロータリークラブ会報

第 25 回 例会 報告 2019.1.25 通算 1754 回

・ 点 鐘 亀岡会長

・ ローターソング
「それでこそロータリー」



ソングリーダー 長江 孝文会員

・ お客様と来訪ロータリアンの紹介

釧路西ロータリークラブ 平 信二君



・ 結 婚 祝

森江 洋之会員 H6. 1. 29 (25 年目)

・ 会 長 挨拶



皆さんこんにちは。本年度第 25 回目の例会会長挨拶をさせていただきます。

早いもので今年度例会も後 21 回となりましたが、会長・幹事は引き続き楽しい例会・役にたつ例会、来週も来たい例会を開催しますので今後共ご協力をお願いいたします。本日の例会は職業奉仕月間に因んで例会ですので後ほど、安藤職業奉仕委員長から報告をお願いいたします。

先週、当社の協力業者の関係者が肺がんで亡くなりましたが病名は肺がんでした。癌の大きさが 6センチと大きく手遅れでしたが、入院当日迄タバコを吸い続けていました。本人は良くて家族や知人達はまだ早い死に、なかなか受け入れがたい事でした。肺がんは進行すると呼吸が苦しくなり、最期はモルヒネを打ち、体力が持たなくなり、肺に水が溜まり、痩せて行きながら死を迎えるのです。肺がんは膵臓がん仅次于死亡率が高い病気です。会員の皆様の中には愛煙家の方々が多数いますが、出来る物なら禁煙や本数を減らすとか健康被害を避けるため努力してはいかがでしょうか。

今、日本では働き方改革の中で「健康経営で生産性向上」の重要性を求めています。人生 100 歳時代を迎えるに当たり健康であれば 80 歳ぐらいまで楽しく働ける環境が出来つつあります。私の会社でも 10

年前からタバコを吸わない方には健康推進手当なるものを出しています。今では月最大で6000円を支給し、病院で人間ドックを受けてもらう金額の一部になればと思っています。病気になると気力が落ち、知恵が出なくなり、決断が疎かになります。これからの会社は健康な社員がいる会社が持続可能性をもっているのです。会員の皆様におかれましても今一度健康について考えましょう。

以上本年度第25回例会の会長挨拶といたします。ありがとうございました。

・幹事報告



- * 合同事務所より2月例会プログラム及び3/2 IMの開催案内が送られています。出欠の期日が月末、2/1となっておりますので早めのご返信をお願い致します。
- * 来週の例会プログラムは移動例会です。出欠の回答がお済みでない場合は本日、木内クラブ運営委員長または幹事までお願い致します。(尚、集合時間は釧路市消防本部に11:20となっておりますのでお間違のないようお願いします。)
- * 本日、2/8釧路東RC様との合同例会の案内を送信しております。会場は三階の藤野間です。同日、IMに際し小野寺ガバナー補佐と佐渡IM実行委員長がご挨拶に来訪されます。こちらにつきましても出欠のご回答を確実にお願い致します。

・委員会報告

親睦委員会 澤山委員長



- ・本日のニコニコ献金

森江 洋之会員 結婚祝として

早津 壮史会員 足の親指を潰しました、
足元に注意しましょう

・本日のプログラム

「職業奉仕月間に因んで」

担当 職業奉仕委員会

◆安藤整治職業奉仕委員長



職業奉仕という考えはロータリー特有の考え方です。この考え方はロータリー活動の魅力であり活動の源泉です。しかし日本語としての職業奉仕の、奉仕の概念をどう捉えていいのかわ大変難しいのです。奉仕とは報酬を求めず見返りを要求しない事と辞書には載っています。しかし、ロータリーでは『最良の奉仕をするものが最も多く利益を得る』。また、こうも言っています『奉仕をしたロータリアン自身が利益

を得なければそれはもはや職業奉仕とは言えないと』。この矛盾を、皆さんはどう捉えますか。今日は皆さんと職業奉仕について考えてみたいと思います。職業奉仕を考えるにあたり、ロータリーの目的は日々の仕事を通して世の中に貢献するために奉仕の心を向上させることです。奉仕とは他人のために何かすること、他人のニーズを充たすことを自己の責務として行うことです。ロータリーの目的は職業を通して社会のいろいろなニーズを満たすことと、言うことになります。職業奉仕とは職業を通して社会のニーズをほぼ完全な形で満たせるよう努力を重ねることです。それによって自己の職業の品位と道徳水準を高め、社会から尊重される存在になることが出来るのです。ここで大事なことはロータリアンは日々の仕事を通じて生きる力の根本である自らの道徳能力を高め、それを社会に反映させることを責務と考えて努力しているということです。すなわち、ロータリアンは日常の職業活動を通じて、自分の職業の従業員、取引先や関係者、ひいては地域社会の人たちの模範となり、生きる力の根源である道徳的能力を向上させることに努めているのです。このような仕事の仕方をロータリーでは、職業奉仕と呼んでいます。皆さんが真のロータリアンであるか否かは皆さん自身とその職場が社会の模範となるように努力することを自己の責務として考えているか否かにかかっているのです。もう一つ自分が他に対してとるべきと考える態度が適切であるか否かを判断する際にその適切性を判断する基準が必要です。この基準は人により異なるものですがその例として四つのテストが非常によくできた基準の一つです。

(ロータリー百科事典より)

(結論)

職業奉仕とはロータリアン個々が職業人として倫理観を持って、職業倫理基準に則り、日々仕事に励み努力を重ねることで技能・知識・ノウハウを身につけ蓄え、地域社会や国際社会がその技能・知識・ノウハウを必要とされたとき、個々のロータリアンが仕事で培った知的財産が社会のニーズに生かされること、それが職業奉仕としての概念ではないか。

倫理基準として

四つのテスト

- 1) 真実かどうか
- 2) みんなに公平か
- 3) 好意と友情を深めるか
- 4) みんなのためになるだろうか

ロータリアンの職業宣言

事業または専門職務に携わるロータリアン、私には以下のごとく行動することが求められている。

- 1) 職業は奉仕の一つの機会であると考えこと
- 2) 職業の倫理的規範、国の法律、地域社会の道徳的規範に対し、名実ともに忠実であること
- 3) 職業に品位を保ち自らが選んだ職業において、最高度の倫理基準を推進するために全力を尽くすこと
- 4) 雇い主、従業員、同僚、同業者、顧客、公衆、その他事業または専門職務上関係を持つすべての人々に対し公平であること
- 5) 社会に役立つすべての仕事に対し、それに伴う名誉を認め敬意を表すこと
- 6) 自己の職務上才能をささげて、青少年に機会を開き、他社の特別なニーズに応え地域社会の質を高めること
- 7) 広告に際してまた自己の事業または専門職業について人々に伝える際には、正直を貫くこと
- 8) 事業または専門職務上の関係において、普通には得られない便宜ないし特典を、同僚ロータリアンに求めたり、与えたりはしないこと



・次回のプログラム

2月1日(金)

「職場訪問例会」移動例会

会場 11:30～釧路市消防本部→駒形家

担当：クラブ運営委員会

・点 鐘 亀岡会長
今週の会報担当：菊池祐司会員